

# メロン

担 当 者 泉谷 雅俊

副 担 当 者 高橋 春貴

試験課題名	品種系統比較試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	土別地区農業改良普及センター JA 北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会果菜部会

## 1 供試品種

### 品種

青肉 ※ 摩周グリーン（ヤエ交配）・クリア（ウエキ交配）・シャロン2号（ナント種苗）  
キングメルティー（サッポロ交配）

『赤肉 ルピアレッド（みかど交配）参考調査』

※ 基準品種・『参考調査』

## 2 耕種概要

土 質 ～ 埴壤土

前 作 ～ 長ネギ

播 種 日 ～ 3月16日

定植日 ～ 5月3日

収穫日 ～ 8月8日

栽植密度 ～ 畦幅 2m × 株間 70cm

714 株/10a 当たり

## 3 土壌診断結果と施肥量

### (1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P205	K20	MgO	CaO
6.5	0.06	57.1	71.0	82.0	568

### (2) 土改資材と堆肥 (Kg/10a)

炭カル ～ 100Kg 堆肥 ～ 2,000Kg

### (3) 施肥内容 (Kg/10a)

基肥 ～ 有機 1号 (8 - 8 - 8) 90Kg 4月28日 全層施肥

分肥 ～ BBS004 (10 - 20 - 14) 15Kg 6月10日 側条施肥

NS604 (16 - 10 - 14) 15Kg 7月5日 側条施肥

### (4) 肥料の要素量

(Kg/10a)

			N	P	K	B
基 肥	有機1号	90Kg	7.2	7.2	7.2	—
分 肥	BBS004	15Kg	1.5	3.0	2.1	—
	NS604	15Kg	2.4	1.5	2.1	0.3
合 計			11.1	11.7	11.4	0.3

## 4 調査項目

生育調査 ～ 播種日・発芽日・発芽率・定植日・定植時の苗質・初期生育（5月8日）

5月15日・草勢・開花始期・着果日・着果率・着果部位

収量調査 ～ 収穫始期・成熟日数・1果実重量・総収量・果高・果径・赤道・肉厚・花痕部規格別割合

特性調査 ～ 裂果・腐敗果・小果他・ネット不良果・糖度 (Brix)

### 5 生育調査

項目	品種	摩周グリーン	クレア	シャロン2号	キングメルティー	ルピアレッド
播種日		3月16日				
発芽日		3月22日	3月22日	3月21日	3月21日	3月22日
発芽率		81.2	90.6	80.4	90.1	88.2
定植日		5月3日				
定植時の苗質	葉数	3.2	3.8	3.4	3.6	3.6
	葉身長 (cm)	5.6	5.7	5.4	5.6	5.8
初期生育・5月8日	つる長 (cm)	14.7	15.9	15.5	14.8	15.7
	葉数	4.1	4.3	4.2	4.5	4.4
5月15日	つる長 (cm)	16.4	16.7	15.9	17.0	16.5
	葉数	5.7	5.9	5.4	5.7	5.4
草勢 (5強 ~ 1弱)		3	4	3	4	4
開花始期		5月23日	5月24日	5月26日	5月24日	5月26日
着果日		6月22日	6月23日	6月23日	6月21日	6月24日
着果率 (%)		100	100	100	100	100
着果節位 (1果目)		12.2	12.6	11.9	12.9	12.4

### 6 収量調査

項目	品種	摩周グリーン	クレア	シャロン2号	キングメルティー	ルピアレッド
収穫始期 (40 ~ 50%)		8月8日				
成熟日数		48	47	47	49	46
果実重量 (Kg / 一果重)		2.6	2.8	2.3	2.4	2.5
総収量 (Kg / 10a)		7,426	7,997	6,569	6,854	7,140
果高		17.9	18.6	15.6	14.2	15.0
果径		17.4	18.4	15.7	15.2	15.0
赤道		2.6	2.4	1.9	2.0	2.3
肉厚		4.8	5.2	3.5	3.0	4.2
花痕部		2.6	3.2	3.2	2.4	2.8
規格割合 (%)	4玉 2.0 Kg 以上	100	100	100	100	100
	5玉 1.6 ~ 2.0 Kg	0	0	0	0	0
	6玉 1.3 ~ 1.6 Kg	0	0	0	0	0
	7玉 1.0 ~ 1.3 Kg	0	0	0	0	0

※規格 4玉 2.0 Kg 以上 5玉 1.6 ~ 2.0 Kg 6玉 1.3 ~ 1.6 Kg  
7玉 1.0 ~ 1.3 Kg

### 7 特性調査

項目	品種	摩周グリーン	クレア	シャロン2号	キングメルティー	ルピアレッド
外観	裂果 (%)	0	0	0	0	0
	腐敗果 (%)	0	0	10	0	0
	ネット不良果 (%)	0	0	10	30	20
	小果他 (%)	0	0	0	20	0
	ネットの密度 (5多 ~ 1少)	3	4	3	2	3
	糖度 (Brix)	15.8	16.3	15.2	13.9	12.5

### 8 病虫害防除履歴

殺菌剤			殺虫剤		
6月10日	アミスター20フロアブル	2,000倍	6月10日	マブリック水和剤20	4,000倍
6月17日	ダコニール1000乳剤	1,000倍	6月17日	サンマイルフロアブル	1,000倍
6月30日	ランマンフロアブル	1,000倍	6月30日	ニツランV乳剤	1,000倍
7月21日	ダコニール1000乳剤	1,000倍	7月25日	アデイオン乳剤	3,000倍
8月1日	ダコニール1000乳剤	1,000倍			

## 9 試験結果概要

### (1) 生育経過

- ① 3月16日に12cmのポットにポットエースを入れて播種、発芽は種の殻をかぶって出てきたのがちらほら現れ、発芽率に少しの差があったが、特に生育不良は見られなかった。
- ② 5月3日に定植し、本葉5枚で整枝、子づるは二本仕立て、苗質はどの品種も良好だった。定植時の苗質の葉身長は、クレアが5.7cm、シャロン2号が5.4cmで0.3cmの差があった。葉数で一番多かったのは、クレアの3.8枚、一番少なかったのは、摩周グリーンの3.2枚で0.6枚の差があった。
- ③ 5月23日に摩周グリーンの開花が始まり、5月24日にクレアとキングメルティエーの開花が始まった。最も遅く開花したのは5月26日のシャロン2号とルピアレッドだった。
- ④ うどんこ病の発生は6月17日にキングメルティエーに一部見られたので、アブラムシと、うどんこ病の予防としてサンナイトフロアブルとダコニール1000を葉に十分かかるように散布した。各品種共、大きな被害には至らなかった。

### (2) 収穫調査結果

- ① 8月8日と8月12日に全品種収穫調査を行ない、熟成日数は摩周グリーンは48日、クレアとシャロン2号は47日、キングメルティエーは49日、ルピアレッドは46日という結果だった。
- ② 基準品種の摩周グリーンの1果重量2.6Kgに対して、クレアの2.8Kgと最も大きく、シャロン2号が2.3Kg、キングメルティエーが2.4Kg、ルピアレッドが2.5Kgといった調査結果であった。

### (3) 特性調査結果

- ① 各品種に裂果は見られなかったが、腐敗果(果実腐敗病)がシャロン2号に多く発生した。
- ② ネット不良果はキングメルティエー、シャロン2号、ルピアレッドに見られたが、摩周グリーンとクレアはネットの発生が平均的に良かった。
- ③ 糖度は摩周グリーンの15.8度に対して、シャロン2号は15.2度であったが、キングメルティエー13.9度、ルピアレッド12.5度でやや低い調査結果となった。クレアは16.3度で最も高かった。

### (4) 考察

1果目の着果は9節を目指していたが、草勢が強く、11~12節となった。蜜バチを利用したため、着果率は100%と良かった。基準品種の摩周グリーンは、外観も良く、10a当たり収量は7,426Kgで、糖度共に安定していて無加温半促成栽培にも有利で期待できる。クレアは糖度が16.3度で日持ちも良く、一果重量2.8Kgとサイズも大きく、市場評価が高くなるものと期待し、今後更に検討したい。